



2019-2020 年度

国際ロータリー会長 / マーク・ダニエル・マローニー 会長 / 持田 稔樹 副会長 / 釜屋 治男
2690地区ガバナー / 古瀬 俱之 幹事 / 杉原 朋之 会計 / 板垣 文江

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F

TEL : 0853-63-3232 / FAX : 63-5365

URL : <http://hirata-rotary.jp/> Mail : office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝日 休局)

■例会プログラム

| 例会日 | 卓話者 | 演題 |
|--------|----------------|-----------|
| 12月19日 | 出雲税務署長 唯間 秀隆 様 | 「マルサ」について |
| 12月26日 | 休会 | |
| 1月2日 | 休会 | |
| 1月9日 | ホテル ほり江 18:30~ | 新年例会 |
| 1月16日 | 会員 田中浩・飯塚大・原伸 | 年男の抱負 |

■出席報告

| 会員数 | 出席者数 | 欠席者数 | 出席率 |
|-----|------|--------|---------|
| 42 | 31 | 11 (7) | 88.57 % |

■欠席者

大谷良 / 原伸 / 松浦 / 園山
(山根 / 牧野 / 遠藤 / 河原 / 高砂 / 黒田 / 伊藤)

■来訪者

福間正純(出雲)

■メイクアップ なし

■次回例会受付当番

- (1月9日) 大島淳司 / 持田祐輔 / 小汀泰之
- (1月16日) 福田磨寿穂 / 大島卓爾 / 大谷厚郎

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

| 月 | 出雲中央 | 松江南 |
|-------|--|---|
| 12/23 | 12/23 | 12/30(-) 1/6 1/27 2/10 |
| 火 | 出雲 12/24(-) 12/31(-) 1/14(-) 2/18 2/25(-) | 松江しんじ湖 1/7 1/28 2/25 12/24・31(-) |
| 水 | 大社 1/8 1/1・29(-) | 松江 12/25 1/29 |
| 木 | (-) ; ビジター受付 なし | 松江東 12/19 1/30 12/26(-) 1/2・23(-) 2/27(-) |
| 金 | 出雲南 12/20 12/27(-) 1/3(-) 1/17 1/31 | |

■会長挨拶

いよいよ、師走も押しつきました。お正月の準備は進んでいますでしょうか？
一般的にはお正月飾りを玄関に懸けたり、門松を立てたりしますね？
さて、「掛け鯛・懸け鯛」をご存知でしょうか？
昔は正月に「鯛を2尾腹合わせで、わら縄で口からエラを通して吊るす」習慣があったようです。
吊るすのは生魚でなく、塩鯛、乾(ほし)鯛を玄関につるしたようです。
しかし、棟上げには、今でも鯛を2尾吊るす習慣が残っています。
棟上げには「塩鯛・乾鯛」とありますが、ほんの 15 分程度なので、生の鯛(魚)を吊るします。
これが厄介で、生臭い鯛にその場でわらを通しますので、その匂いが手から取れなくなります。その後の祝詞を奏上する際や、宴会まで匂いが付いてきます。
特に夏は嫌でした。

また、「魚」と言えば、「懸魚=ゲギョ」と言うのを、神社仏閣では、棟木の小口の破風板に付けます。

これも、魔除・防火(水)の意味があるようです。

以前の挨拶に、神様の頭の上にある「雲」の意味も、一つの説だと思います。その懸魚には、神社用に「猪の目懸魚」、仏式用に「かぶら懸魚」等があります。

「懸け鯛」と「懸魚」、「鯛」→「魚」に代えただけの字を書くので、相当縁起を担ぎ、相当魔除を信じて建物に付けたのだと思います。

縁起を担ぐ事は、今も昔も変わらない事かもしれません。

令和元年もあと 12 日となりました。

年末年始お風邪などひかないように、そして年明け1月9日には元気でおいしましょ。



■幹事報告

1. 会費の引落 1/7 1・2・3月分(57,000 円)
2. 「2020年平田青少年新春コンサート」チケット配布 (複数ご希望の方事務局まで)
3. ホテルほり江様よりお歳暮を頂戴いたしました。

■理事会決定事項

1. 「2020年平田青少年新春コンサート」への後援依頼の承認 一人一枚(1,000 円)チケット購入協力をお願い致します。

■スマイル

福間 (メイクアップで参加させていただきます。よろしく願います。)

持田稔 (出雲クラブ福間様ようこそ！)

出雲税務署長、唯間様 本日はスピーチよろしく願います。前回は忘年会お世話になりました。)

佐々木 (出雲 RC 福間さんのご来訪を喜んで。一緒にクラブ幹事をつとめた仲です。)

恒松 (次年度 R 財団委員長原様15日は岡山での研修会ご苦労でした。今夜お茶の会「宗春の会」の忘年会があります。大島先生にはお世話になります。久しぶりに河原治子様がお出掛けになります。)

飯塚大 (福間正純様 Make-Up によろしくいりました。)

釜屋 (1年間ご苦労様でした。来年もよろしく！)

内田 (唯間署長様、本日はありがとうございます。)

出雲クラブ福間様ようこそいりました。)

田中 (出雲税務署長 唯間秀隆様、本日は平田ロータリークラブにお出で頂きありがとうございます。法人会や関税会でもよろしくお願ひ致します。)

小江 (出雲クラブ福間さま、本日はようこそお出かけ下さいました。出雲税務署唯間署長様、花井総務課長様、石飛様、本日はお忙しい中、お出かけ頂きありがとうございます。お話し楽しみにしています。よろしくお願ひ致します。)

土江 (忘年例会では皆様の協力により盛大に終る事ができました。ありがとうございました。)

石原俊 (福間先輩、ようこそ。唯間署長さん、本日はよろしくお願ひします。本日葬儀にて早退します。ご容赦ください。)



■ ■ ■ スピーチ・例会行事 ■ ■ ■

出雲税務署長 唯間 秀隆 署長

「マルサ」について



令和元年7月に広島国税局出雲税務署長に赴任

国税の査察官として勤務した。査察制度は悪質な脱税者に刑事責任を追究しその一罰百戒の効果を通じて適正公平な課税の実現と申告納税制度の維持を目的としている。通称「マルサ」と呼ばれているが、地味で秘密事項がおおいあまり知られていない。3K(きつい・きかない・きけん)な職場で希望者が少ない。平成10年7月に初めての連続して8年間査察課に勤務した。30年7月から統括国税査察官ののち出雲税務署に赴任したが、査察には計13年間勤務した。国税の調査の中では唯一裁判所の発行した令状で強制調査を行う。仕事の内容は情報事務と調査事務の二つに分かれる。情報事務はあらゆる情報をもとに脱税の疑いのある個人や法人を裁判所に許可状の申請を行う。調査事務は裁判官が発行した許可状をもとに嫌疑者の事業所や居宅の調査(がさ)を行い、差し押さえた資料を基に分析を行い、証拠を固めたうえで検察庁に告発を行う。

調査の流れは情報事務、状の元、新聞テレビ、雑誌、インターネットをもとに検討し、場合によっては何年もかかる場合がある。裁判所に許可状を申請し、調査に着手する。ひとつの事案で平均して50~200名の査察官を配置する。差し押さえた物証をもとに検察官に告発するが1年から3年ぐらかかる場合もある。査察官とは別に検察官は捜査をして裁判に持ち込む。100%くらいの有罪判決となる。

査察で、現金や通帳の隠し場所は、押し入れの奥、床下、バスユニットの天井の点検口、中には敷地に重機で穴を掘って埋めてあるものなどがあるが、湿気やカビで紙幣が痛んでいるものもあった。